

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を!

よさのうみ福祉会広報紙



福祉よさのうみ

第92号

2016(平成28)年7月1日

発行 ■ 社会福祉法人 よさのうみ福祉会

URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>

〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6

TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606



みねやま作業所 研修旅行

〜〜めんそ〜れ! 春の沖縄旅行〜〜

好天候の4日間・沖縄満喫

管理者 村上 健一

今年の研修旅行は希望アンケートで3つのグループで実施することとなりました。Aコースは沖縄3泊4日、Bコースは大阪USJ1泊2日、Cコースは淡路島グルメ1泊2日と決まりました。

いちばんに旅立った沖縄旅行は5月25日の午前10時に作業所をマイクロバスで出発しました。与謝峠で少し早い弁当を食べ、福知山駅前から高速バスで大阪空港に向かい、那覇空港には午後5時過ぎに到着し国際通りで大きな「ステーキ夕食」にびっくり。今回は一般のツアー旅行に参加し、沖縄では一般のお客さんと同じバスで移動しました。42名のツアー中22名がみねやま作業所の仲間と職員となり、楽しみながらも社会的ルールを学ぶ場にもなりました。

1泊目は中頭郡北中城村のホテル、2泊目は名護市、3泊目は那覇市で万座毛・フルーツランド・ハーロック・琉球村・国際通り・首里城など、もりだくさんの観光をしました。

3日目沖縄最後の夜は国際通りでカラオケ、観光スポットの居酒屋に行きみんなで楽しみました。沖縄は梅雨の最中でしたが、日頃の行いが良く4日間とも晴天が続きました。少ししんどくなる仲間もいて、



沖縄美ら海水族館

グループにわかれて休憩を取ることもありましたが、旅行を満喫することができました。飛行機を使った旅行も2回目なので、荷物預けや搭乗手続、保安検査もスムーズに通過していました。



大阪空港

最初は22名で飛行機を使い3泊4日の沖縄旅行は無理があるかなと思いましたが、適切な支援をおこなうことによりたいへんスムーズな取り組みとなり、あらためて仲間の持っている力の素晴らしさを感じました。

京都府宮津総合庁舎の清掃作業を始めました

すまいる 支援員 若月 洋司

京都府から依頼を受け、今年の4月1日から宮津総合庁舎の清掃作業を始めました。8時15分から4時間、週5日(土日祝日除く)の作業です。作業内容としてはトイレ掃除、長い廊下のモップ掛け、屋内外の階段掃除、湯沸室や会議室の掃除機かけや拭き掃除をします。その後はゴミ集めゴミ仕分けや駐車場の草抜きなどを行っています。

まず「挨拶をしっかりとすること、丁寧に仕事をする事」を目標にして作業をおこなっています。

当初は、利用者みなさんは、はずかしいので挨拶をためらっている人もいましたが、今では、みなさん大きな声で挨拶もでき、また作業の手際も良くなり、それぞれ自分のペースで丁寧に作業がおこなえるようになりました。

その甲斐あって、来庁される人か

た。これからも仲間にいろいろな経験がしてもらえような取り組みを行っていきたいと考えています。帰りの高速バスの車中では2年後の行き先の話題でおおいに盛り上がっていました。



らも「この施設はいつもきれいですね」とお褒めの言葉をいただき、利用者、職員共々喜んでいきます。

5月の初給料日には、「給料アップしてうれしい」「この仕事にやりがいがある」など仕事に参加した利用者からは良い感想を聞くことができ、翌日の仕事には、いつもよりいっそう仕事に打ち込む利用者の姿が見られました。こういう姿を見られるのは、職員としてたいへんうれしい



です。今後は、この仕事に多くの利用者に参加していただき、まだ就労活動を考えていない方にも働くことについて考える機会や、就労に向けた第一歩になるように今後も取り組んでいきたいと考えています。



2015 年度 法人事業及び決算概要説明

社会福祉法人 よさのうみ福祉会

(1) 2015年度は後期3力年 計画初年の年

よさのうみ福祉会は、2012年3月、法人設立30年余の事業の到達をふまえ、「よさのうみ福祉会のめざすもの」を制定しました。「めざすもの」を実現するため、2013年度から2017年度までの5ヶ年総合計画を、前期2力年と後期3力年計画に区切りました。2015年度は後期3力年計画の初年度にあたり、「後期3力年計画3つの基本方針」の基盤をつくる年と位置付け取り組みました。

① 支援と実践を高める仕組みで、人が活きるより良い支援をめざします。

② 法人の規模を活かせる組織体系・管理体系の定着をはかります。

③ 経営を安定化させる財政の見通しを確保します。

(2) 多様な日中活動に向けた活動

多様なニーズや障害実態に対応できるように、京丹後市、与謝野町、宮津市・伊根町の3つのエリアを基本に、日中事業所の機能分化を進め、

多様な人たちを受け入れるために2015年度は、「日中事業実践向上委員会」を組織し、毎月を基本に委員会を開催し就労支援活動の現状分析や決算分析に取り組みました。また、現状と課題・展望を探るため、「就労支援系事業所アンケート」を取り組み、現場主任を交え検討協議を行いました。

また、生活困窮者就労支援として京丹後エリアでの協力事業所登録「就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント」への就労移行支援事業所の役割発揮など取り組みました。

(3) ホームの充実・開設

法人夢ビジョンの実現をめざし、丹後福祉圏域における暮らしやすい環境を整えるために

① 与謝野町での新規グループホーム開設

岩滝地域に障害の重い人が入居できるホーム(9人)・短期入所(2人)と地域交流スペースの整備に取り組み、3月末に工事を完了し、2016年5月から法人11カ所目のホームとして開所しました。

障害の軽い人のアパート形式のホーム(10人)は、理事会で基本計画ならびに資金借入計画の承認を得、2016年度工事着工、年末に工事完了をめざします。

② ホームすみれ再編計画

ホームすみれが現在複数の箇所に分散し、それぞれに管理を要する状況を解消し、人員配置を円滑にするとともに、管理を行いやすくしホーム機能の向上を図るための検討を開始しました。ホームすみれに同居している相談支援事業所やホームヘルプ事業所の今後を含め検討中です。

③ 京丹後市でのグループホーム検討

京丹後市における3つ目のホーム建設のための場所や内容の検討を進め、場所探しや資金計画などの検討を行いました。

(4) 職員育成

職員の育成は、法人5ヶ年総合計画の中でも、極めて重要な課題とされ、法人の核である「支援」のあり方を左右する活動です。2015年

度は、次の取り組みを展開しました。

① チャレンジシートを活用した面談制度

2015年度から「めざす職員像」及びチャレンジシートを活用した管理者の職員に対する個別面談を実施しました。初めて実施した事業所では、その取り組みを通し職員個々の現状や課題が浮かび、管理者・職員双方にとって相乗的な効果をもたらしています。しかし、法人全体に定着するには至っていません。

② 国家資格取得を応援

法人職員の国家資格取得を支援するための受験対策について、与謝野町事業者連絡会主催の講座を紹介し参加者を組織しました。前年度法人主催講座及び今年度の講座と受験職員の自己努力により、2015年度末に新たに8名が介護福祉士資格を取得しました。

(5) 働きやすく風通しの良い職場づくり

2014～2015年度に実施したストレス調査結果を踏まえ、

2015年度は「メンタルヘルス対策委員会」を組織し必要な対策を検討しました。職場労働者の代表から必要の強かった「必要な時に相談できる専門的な窓口開設」を図り、2016年3月の各事業所の職員会議で周知を図りました。

労務管理面では、2014年度の「京都府ワーク・ライフ・バランス認証制度」の認証を受け、2015年度は「京都府子育て支援表彰」を受けました。過去8年間で女性職員の16名が育児・介護休業を取得し、契約職員を含む制度を利用した職員全員が復職し、子育て・介護と仕事を両立していることが評価されたものです。

(6) 権利擁護・虐待防止・リスクマネジメント

福祉に関わる専門職の集団である当法人は、利用者の権利擁護について、法令はもとより、それらを脅かす事態が発生する背景やより良い対応方法、専門的知見に基づく見識と権利を守るために自ら守るべき規範を認識し、実行できなくてはなりません。

2013年度から3年連続、全職員を対象にした「障害者虐待防止セ

ルフチェック」を取り組むことで職員個々の気づきを高めると共に、アンケート結果の職員会議検討も行ってききましたが、「他の職員が利用者に対して虐待と思われる行為を行っているのに出くわしたことがある」が毎回2割を超え、2割近くが「それを容認したことがある」と回答しています。

2015年度は、利用者から「虐待」とも受け取れる苦情があったことを契機に、「障害者虐待防止セルフチェック」集計結果を踏まえた年度末総括会議討議、夢織りの郷全職員対象アンケートの実施、苦情解決第三者委員の松村氏を招いての学習会など、適切な支援に向けた取り組みが行われました。

(7) 地域連携・社会貢献計画

① 2015年度、「地域福祉優秀実践賞」(日本地域福祉学会)を受賞

今回の受賞は、

ア. 障害のある人の働く場の拡充、地域の再生や活性化への貢献を目指してきた

イ. 自治体との連携において、数多くの成果を生み出していること

ウ. 地域共生型福祉施設の普及に努め、種別を超えた法人間の協働運営を実現していることが評価されたものです。

② 生活困窮者、就労困難者、引きこもりなど、地域の抱える課題対応

京丹後市寄り添い支援総合サポートセンターの依頼を受け、京丹後市ジョブトレーニング(就労体験訓練)に4事業所が2015年度に登録を済ませました。

野田川共同作業所(九条ネギ栽培等ハウス班)、リフレかやの里(農産加工作業班)において「京都府就労体験事業(農作業)運営業務企画提案参加申請書」を提出しました。

(8) 法人間連携

① やすらの里における4法人間の連携

毎月の共生型福祉施設運営協議会が定例化され、4法人間の連携と調整が図られました。これからの福祉の理想型として全国から注目を集め、数多くの見学・視察を受け入れました。

②「京丹後市障害者事業所製品販売 連絡協議会」における連携

「くりくり」の更なる発展に向け、全国各地の出店形態の事業所の交流と連携、障害者の創造の場と機会の提供をめざし、京丹後市との共催で「はあと&きらめきワークフェスタ in 京丹後」の成功に、実行委員会構成団体として積極的な役割を果たしました。市内の幅広い各種団体との連携は、今後の事業展開の貴重な機会となりました。これらの積極的な取り組みにより、2015年度の「くりくり」の売上は、昨年度実績を約37万円上回る772万円となりました。

③京都市北部6福祉会の交流・連携事業の継続推進

第32回目の京都市北部職員研修会は、9月12、13日に福知山市内で開催され、全国障害者問題研究会京都支部との共催により6福祉会以外からも59人の参加があり、全体参加者が372人に達しました。内容的にも研究者から「質の高い研修」との評価を得ており、6福祉会研究委員会の持続的な取り組みの成果です。当法人の研究委員も積極的な役割を

果たしました。

(9) 2015年度法人決算の 特徴と課題

(1) 就労支援事業会計の決算状況

2015年度の就労支援事業会計は、事業活動計算書で、収入が2014年度に比べ約330万円増加し約1億9,334万円となり、支出では前年度対比約21万円増加し約2億円となった結果、事業活動収支では当期増減差額がマイナス667万円となりました。

(2) 工賃等の支払い結果

利用者賃金とは、リフレかやの里A型利用者に支払った人件費分ですが、総額で1,573万円、2014年度対比で95万円の減額となりました。

就労継続B型事業所の利用者工賃は、総額で3,785万円、2014年度対比で約158万円の増となっています。B型利用者の平均工賃(月額)は、2013年度1億5,803万円、2014年度1億5,068万円、2015年度実績は1億4,910万円と、わず

かながら2年連続減少する結果となりました。

(3) サービス活動収支の概要

① サービス活動収益の概要

障害福祉サービス等事業収入(報酬、補助金、寄付金など)は、2012年度と2015年度比較で7,861万円増加しています。その増加額は2012年度↓2013年度は4,136万円、2013年度↓2014年度1,980万円、2014年度↓2015年度1,745万円となっており、増加額が年々少なくなっています。

② サービス活動費用の内容

一方、2015年度障害福祉サービス事業支出は2012年度と比較して1億4,538万円増となっています。その内事業費・事務費の総額は経費削減により2,123万円減額していますが、人件費は1億5,000万円増額しています。2015年度人件費は2014年度に比べ4,640万円増額しており、その内1,721万円が処遇改善費増額にともなう人件費、900万円

が退職給付費用(2014年度までは人件費以外の項目で処理)にともなう人件費増でした。

③ 収支差率の推移と課題

収支差率は2012年度9,940万円から2015年度3,263万円となり6,677万円減少しています。法人が今後事業を継続していくために必要な障害福祉サービス及び就労支援事業の収支差率5.9%(収支差額÷収入総額)は、2012年度7.8%、2013年度5.1%、2014年度4.1%、2015年度3.9%と年々減少しており、必要な改善策を早急に講じる必要があります。



第3号の1様式

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	1, 075, 437, 237	流動負債	233, 533, 949
現 金	1, 589, 748	事業未払金	171, 308, 202
小口現金	665, 896	その他の未払金	44, 195, 499
普通預金	701, 056, 469	1年以内返済予定設備資金借入金	14, 716, 000
施設会計	603, 780, 263	1年以内返済予定長期運営資金借入金	800, 000
就労会計普通預金	97, 276, 206	1年以内返済予定長期未払金	0
定期預金	15, 116, 990	預 り 金	0
事業未収金	248, 269, 623	職員預り金	59, 068
未 収 金	11, 127, 029	仮 受 金	2, 455, 180
未収補助金	69, 014, 137	固定負債	167, 825, 325
給食用材料	349, 394	設備資金借入金	91, 317, 000
商品・製品	2, 994, 332	長期運営資金借入金	0
仕 掛 品	1, 883, 652	退職給付引当金	76, 508, 325
原 材 料	5, 041, 751	長期未払金	0
立 替 金	102, 309	負債の部合計	401, 359, 274
前払費用	5, 916, 026	純資産の部	
短期貸付金	4, 500, 000	基 本 金	297, 062, 799
仮 払 金	7, 809, 881	国庫補助金等特別積立金	593, 118, 989
固定資産	1, 266, 402, 150	その他の積立金	59, 185, 950
基本財産	789, 682, 790	人件費積立金	7, 000, 000
土 地	112, 258, 000	修繕積立金	17, 185, 950
建 物	676, 324, 790	備品等購入積立金	7, 600, 000
定期預金	1, 100, 000	移行時特別積立金	27, 400, 000
その他の固定資産	476, 719, 360	次期繰越活動増減差額	991, 112, 375
土 地	6, 585, 000	次期繰越活動増減差額	991, 112, 375
建 物	160, 220, 134	(うち当期活動増減差額)	55, 105, 120
建物附属設備	77, 968, 175	純資産の部合計	1, 940, 480, 113
構 築 物	13, 500, 193		
機械及び装置	6, 977, 557		
車輛運搬具	27, 851, 071		
器具及び備品	41, 790, 888		
建設仮勘定	0		
権 利	4, 048, 824		
ソフトウェア	1, 013, 866		
投資有価証券	100, 000		
退職給付引当資産	76, 508, 325		
人件費積立資産	7, 000, 000		
修繕積立資産	17, 185, 950		
備品等購入積立資産	7, 600, 000		
移行時特別積立資産	27, 400, 000		
長期前払費用	969, 377		
資産の部合計	2, 341, 839, 387	負債及び純資産の部合計	2, 341, 839, 387

第1号の1様式

資金収支計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

勘 定 科 目			予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	186,507,367	193,344,568	△6,837,201	
		障害福祉サービス等事業収入	1,189,648,259	1,199,334,447	△9,686,188	
		雑収入	2,587,696	2,108,243	479,453	
		借入金利息補助金収入	413,589	552,742	△139,153	
		経常経費寄附金収入	13,531,131	12,386,731	1,144,400	
		受取利息配当金収入	148,042	160,082	△12,040	
		その他の収入	10,983,161	10,887,675	95,486	
		事業活動収入計(1)	1,403,819,245	1,418,774,488	△14,955,243	
	支出	人件費支出	925,491,113	930,559,354	△5,068,241	
		事業費支出	110,089,934	109,224,181	865,753	
		事務費支出	107,396,123	111,581,452	△4,185,329	
		就労支援事業支出	193,364,824	194,059,491	△694,667	
		利用者負担軽減額	273,000	272,998	2	
		支払利息支出	881,945	899,413	△17,468	
		その他の支出	6,447,770	6,423,390	24,380	
		事業活動支出計(2)	1,343,944,709	1,353,020,279	△9,075,570	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	59,874,536	65,754,209	△5,879,673	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	66,616,073	66,696,560	△80,487	
		施設整備等寄附金収入	20,000,000	21,508,091	△1,508,091	
		設備資金借入金収入	61,800,000	61,800,000	0	
		固定資産売却収入	720,000	720,000	0	
		施設整備等収入計(4)	149,136,073	150,724,651	△1,588,578	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	12,823,000	12,823,000	0	
		固定資産取得支出	180,975,835	181,424,982	△449,147	
		施設整備等支出計(5)	193,798,835	194,247,982	△449,147	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△44,662,762	△43,523,331	△1,139,431	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	12,463,014	49,828,884	△37,365,870	
		その他の活動による収入	29,044,589	29,509,635	△465,046	
		その他の活動収入計(7)	41,507,603	79,338,519	△37,830,916	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	1,200,000	1,200,000	0	
		積立資産支出	33,626,477	33,578,387	48,090	
		その他の活動による支出	8,333,302	44,475,557	△36,142,255	
		その他の活動支出計(8)	43,159,779	79,253,944	△36,094,165	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,652,176	84,575	△1,736,751	
予備費支出(10)			0	—	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			13,559,598	22,315,453	△8,755,855	
前期末支払資金残高(12)			824,834,706	824,834,706	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)			838,394,304	847,150,159	△8,755,855	

第2号の1様式

事業活動計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	193,344,568	190,035,779	3,308,789
		障害福祉サービス等事業収益	1,199,334,447	1,175,715,609	23,618,838
		雑収益	2,108,243	3,932,281	△1,824,038
		経常経費寄附金収益	12,386,731	16,728,627	△4,341,896
	サービス活動収益計(1)		1,407,173,989	1,386,412,296	20,761,693
	費用	人件費	937,635,683	891,238,515	46,397,168
		事業費	109,120,203	111,569,981	△2,449,778
		事務費	111,581,452	109,053,593	2,527,859
		就労支援事業費用	200,015,974	199,797,258	218,716
		利用者負担軽減額	272,998	0	272,998
減価償却費		60,581,191	66,033,921	△5,452,730	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△37,994,322	△39,810,701	1,816,379	
サービス活動費用計(2)		1,381,213,179	1,337,882,567	43,330,612	
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		25,960,810	48,529,729	△22,568,919	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	552,742	711,368	△158,626
		受取利息配当金収益	160,082	151,211	8,871
		その他のサービス活動外収益	10,887,675	10,340,402	547,273
		サービス活動外収益計(4)	11,600,499	11,202,981	397,518
	費用	支払利息	899,413	1,099,784	△200,371
		その他のサービス活動外費用	6,618,646	6,999,761	△381,115
		サービス活動外費用計(5)	7,518,059	8,099,545	△581,486
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		4,082,440	3,103,147	979,293
経常増減差額(7)=(3)+(6)		30,043,250	51,633,165	△21,589,915	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	66,696,560	10,787,637	55,908,923
		施設整備等寄附金収益	21,508,091	3,205,000	18,303,091
		固定資産売却益	720,000	101,000	619,000
		その他の特別収益	34,864,179	3,212,223	31,651,956
		その他の活動による収益	1,800,000	0	1,800,000
		特別収益計(8)	125,588,830	17,305,860	108,282,970
	費用	基本金組入額	22,418,025	0	22,418,025
		固定資産売却損・処分損	26,740	190,006	△163,266
		国庫補助金等特別積立金積立額	62,374,464	8,171,139	54,203,325
		その他の特別損失	13,907,731	3,212,223	10,695,508
		その他の活動による費用	1,800,000	0	1,800,000
		特別費用計(9)	100,526,960	11,573,368	88,953,592
特別増減差額(10)=(8)－(9)		25,061,870	5,732,492	19,329,378	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		55,105,120	57,365,657	△2,260,537	
繰越額活動の動部増減差	前期繰越活動増減差額(12)		935,007,255	877,641,598	57,365,657
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		990,112,375	935,007,255	55,105,120
	その他の積立金取崩額(15)		1,000,000	0	1,000,000
	備品等購入積立金取崩額		1,000,000	0	1,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)		991,112,375	935,007,255	56,105,120



志月友美

障害者就業・生活支援センター
こまち 主任

福祉会 リレー随想

「まずは、やってみよう」

学生の頃から文章を書くことに時間がかかりました。良いものを書けなくては…読んだ人たちはどう思うのかなあ…。書いては消す、の繰り返し。どちらかと言えば、あれこれ考え過ぎて立ち止まりやすい性格で、慎重で良い面もありますが、事がすすまず後悔をする経験が多いです。誰かに相談する等すればいいのですが、相談するまでも考えすぎてしまいます。

以前、ある相談員さんが面談をされる場に同席をさせていただきました。対応されていた相談者さんとはとても慎重派。あれこれ考えてしまい不安な気持ちになりました。「ものごとを取り組むときに、失敗するんじゃないか…とか色々不安に思っけど、まずはやってみよう！もしうまくいかなかった時、どうすればいいかわか？という方法を一緒に考えていきましょー。」まずはやってみる。どつすればうまくいくかを一緒に考える。キーワードに相談を重ねておられ、不安なことにも挑戦されている相談者さんの姿が、私の背中を押してくれました。考えすぎる前にまずは一歩前に出てみよう、迷ったら周りの人と一緒に考えていけばいい。まだまだ考えすぎて立ち止まることはありませんが、まずは、やってみよう。相談員さんの言葉や相談者さんの姿が、立ち止まったときの私を後押ししてくれています。

※今回は障害者人所支援施設

いきいき 栄養士 河邊 祐子

ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございました。

2016年4月19日～6月21日

(敬称略)

一井 紀江 平井 弘美
小谷 勝己 日下部みはる
今井 俊行 中上 清吾
夢織りの郷家族会会長

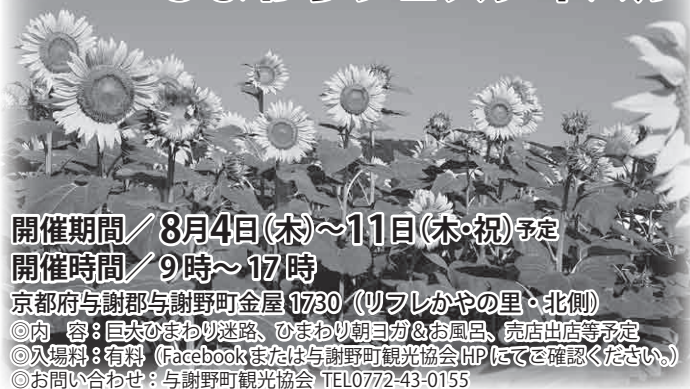
西原 俊朗
川勝 原一郎
夢織りの郷を支える会会長

編集後記

きょうされんの全国広報紙『TOMO』の編集委員を2年間させていただきました。東京の本部に行き、神戸や大阪に取材に行き、全国のきょうされん活動の歴史や力強さを感じた2年間でした。さて、私のはたらく作業所のある京丹後市では、前回の国勢調査で20歳代(20歳から29歳)の若者の就業場所の1位が福祉分野であるということが発表されました。高齢、児童、障害と合わせてですが、少子高齢化の進むなか、福祉が基幹産業とも呼べるものになっていることに驚きました。しかしその反面、福祉予算はどんどん切り詰められようとしています。平和で、安心して暮らせる社会を作るために、仲間、ご家族、職員、ほかの福祉職場ではたらく人達、地域の方々、みんなとつながりあわなくては、と思います。そのためにこの『福祉よさのうみ』や『TOMO』がたくさんの方に読んでいただけるよう、微力ではありますが力を尽くす所存です。どうかよろしくお願いいたします。

(山)

よさの 与謝野町 ひまわりフェスティバル



開催期間／8月4日(木)～11日(木・祝)予定

開催時間／9時～17時

京都府与謝郡与謝野町金屋1730(ツフレかやの里・北側)

◎内 容:巨大ひまわり迷路、ひまわり朝ヨガ&お風呂、売店出店等予定

◎入場料:有料 (Facebookまたは与謝野町観光協会HPにてご確認ください。)

◎お問い合わせ:与謝野町観光協会 TEL0772-43-0155

グループホーム「菜の花ホーム」がスタート 地域交流スペースもオープン!!



菜の花ホーム食事風景



菜の花ホーム



カフェ・ショップ 花鈴 接客中



カフェ・ショップ 花鈴

菜の花ホームの生活が5月10日からスタートしました。残念ながら女性職員が必要数確保できていないため、利用者は5名で月曜日の夕方から金曜日の朝までの利用になっています。

始まる前は、慣れない場所と職員にどんな生活になるか不安一杯でしたが、予想以上にスムーズにスタートしました。言葉でのやりとりも困難な障害の重い利用者がほとんどですが、入居前に「いきいき」でシヨート体験を行い集団生活を体験したこと、また菜の花ホームのリビングや居室、トイレなどがわかりやすくゆとりのある空間に設計されていること、そして小集団であることのおかげだと思っています。食事後は自分の部屋でテレビをみたり、ゲームをしたりと、以前から住んでいたかのように、思い思いの生活を送っている姿にほっとしています。

カフェ・シヨップ花鈴

6/15本格オープン!!

「カフェ・シヨップ花鈴(かりん)」は、国の補助金を受け、高齢者をはじめ地域の方が気軽に立ち寄れる交流スペースとしてスタートしました。

カフェは、飲み物中心のメニューですが、地域で生活される高齢者や地域の方が気軽に立ち寄り、おしゃべりを楽しむほっこりできるスペースになればと思っています。できるだけ多くの

方に利用していただけるよう、値段もぐっと抑えました。

接客する利用者の方は、与謝野町内にある事業所の中でも障害が重い方です。カフェ・シヨップ花鈴ができたことで、「花音」や「リフレかやの里」のように地域の方と直接かわる仕事をしたい!!という思いをかなえることができました。スマートな接客ができるか不安もありますが、自分たちの持つ力を精一杯発揮して心をこめてお客様対応をしますので、長い目で温かく見守ってください。

着物リサイクルシヨップは、地域の方からご寄附いただいた着物や小物を販売しています。高価な着物や帯からリフォーム、小物づくりの端切れまで、多数取り揃えています。着物を利用した手作り工房や、高齢者を対象にしたサロン、食事会なども行いたいと思っています。華やかな着物や小物を見ていただだけでもかまいません。ぜひお立ち寄りください。

カフェ・シヨップ花鈴

☆営業時間

10:00~15:00

☆営業日

月~金(土・日・祝はお休み)

☆メニュー

コーヒー	250円
紅茶	250円
ココア	250円
アイスコーヒー	280円
ジュース(生)	300円
リフレかやの里のパン	
各種クッキー・おかきなど	